

●全体構成・テーマの設定

資料を読み込みながら、イメージを膨らませます。そこから醸し出した言葉や色でテーマを設定します。たくさんの記念事業をやらせていただき、都度テーマをイメージしてきました。それらについては弊社サイトにありますので是非ご覧ください。

- ヤマハ労働組合50周年記念誌 → 「吾ら」
- 豊田自動織機労働組合60周年記念誌 → 「KANREKI=貫歴・汗歴・感歴」
- 豊田工機労働組合40周年記念誌 → 「ほっとUNION」
- 豊田工機労働組合50周年記念誌 → 「TOKI」
- フタバ産業労働組合60周年記念誌 → 「フタバの笑顔」
- 愛知製鋼労働組合60周年記念誌 → 「時の語り部」
- 東芝テック労働組合50周年記念誌 → 「集え、チカラ 動き出せ」
- セントラルファイナンス労働組合50周年記念誌 → 「基・渉・展・決」
- 愛三工業労働組合50周年記念誌 → 「流儀」
- 東海理化労働組合50周年記念誌 → 「吾らの矜持」など。

年	月	活動
70	12	大正13年12月
71	10	昭和46年10月10日
72	9	昭和47年9月16日
73	9	昭和48年9月29日
74	12	昭和49年12月1日
75	12	昭和50年12月
76	5	昭和51年5月22日
77	5	昭和52年5月29日
78	5	昭和53年5月20日
79	5	昭和54年5月20日
80	12	昭和55年12月29日
81	3	昭和56年3月11日
82	3	昭和57年3月22日
83	3	昭和58年3月11日
84	4	昭和59年4月1日
85	11	昭和60年11月29日
86	12	昭和61年12月4日
87	12	昭和62年12月21日
88	4	昭和63年4月1日
89	11	昭和64年11月18日
90	4	昭和65年4月
91	6	昭和66年6月18日
92	7	昭和67年7月18日
93	7	昭和68年7月18日
94	2	昭和69年2月
95	3	昭和70年3月
96	4	昭和71年4月
97	10	昭和72年10月
98	4	昭和73年4月
99	6	昭和74年6月
00	9	昭和75年9月

●年表作成

時代背景などを含めた年表を作成することで、大筋を掴みます。

労働組合 主な活動 (議案書より)

10 ~ 1990.9

行調、個人消費や設備投資増大、内需主導型成長に

金の8% (組合員一人当たり平均 16,989 円)

たり 5.93%、12,593 円の昇給

ずつ加算。
(回答) 要求どおり

・連続年休制度の新設
(要求) 全組合員対象 (入社 2 年日以降)、連続 3 日間

(回答) 要求どおり

・リフレッシュ休暇の改定
(要求) 勤続 10 年を新設、休暇日数をすべて 5 日に

(回答) 勤続 20 年と 30 年の休暇数を 5 日に

6 月 19 日回答

・一時金

(要求) 基準内賃金に対して年間 5.6 万円 (夏 2.75 万円、冬 2.85 万円)

(回答) 全トヨタ労連の中でも早い時期に満額回答

●89 秋の取り組み

10 月 23 日要求決定 10 月 31 日要求書提出

11 月 29 日回答

・交付勤務手当の改訂

(要求) 夜勤勤務 23% から 25% へ

3 交付 2 直日勤務 11.5% から 12.5% へ

(回答) 要求通り

・労働災害付加補償の改訂

(要求) 遺族補償最低補償額 2500 万円から 2800 万円へ

退職時生涯補償 (1 ~ 3 級) の最低補償額 2500 万円から 2800 万円へ

(回答) 要求通り

●議案書等からの抽出

議案書や機関誌から当時のポイントになる事柄を抽出します。これをベースに当時を知る方にインタビューさせていただきます、肉付けを行います。

記念誌作成 『私たちのやり方』

過去に発行された記念誌や議案書を読み込み年表をまとめます。それをもとに、議案書や交渉資料からポイントを書き出します。その後先輩諸氏をご紹介いただきインタビューをさせていただきます、原稿として完成させていきます。できあがった原稿に基づき、写真を選択し、トータルでデザインをおこします。これらを一貫作業として私どもが進めていきます。

1

資料の読み込み

過去に発行された記念誌や議案書を読み込んで、流れを把握します。

2

全体構成・テーマの設定

大きな流れの中で、ポイント毎に区分けしながら、全体を通すテーマを設定し、提案します。

3

年表作成・議案書からの抽出

流れを年表にまとめると同時に、主要な項目を期毎に書き出します。

4

インタビュー・撮影

資料からは読み取れない事柄について、当時を知る方にインタビューし、補強します。同時に人の撮影と労働協約など必要な資料の撮影をします。

5

原稿の書き起こし

まとめた資料やインタビューから、記念誌の原稿を書き起こします。

6

写真の選択

書き起こした原稿をもとに、写真を選択します。時にはグラフや表などもあわせてデザインの素材となります。

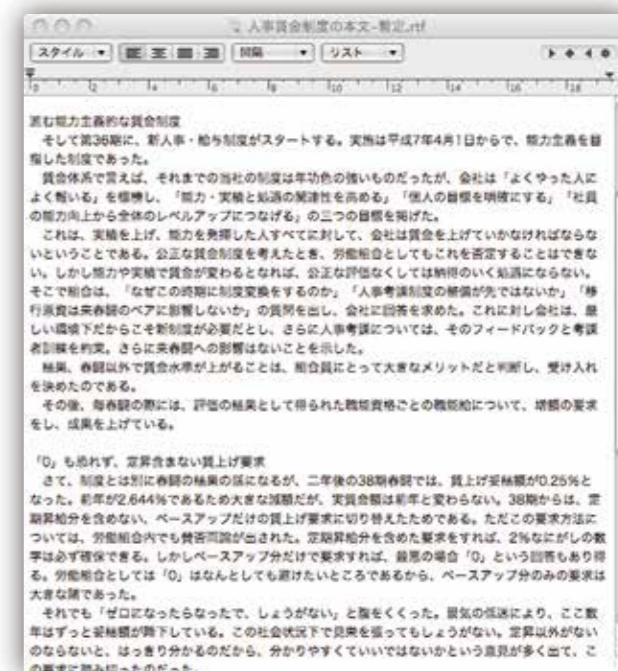
7

デザインカンプの作成

原稿と写真を使って、誌面をデザインします。

●原稿の書き起こし

議案書からの基礎資料やインタビューで得られた情報をもとに、原稿を書き起こします。これらの作業は基本的に私どもが進めますが、調べきれない事柄などについて、順次アドバイスをいただきながら、原稿の精度を高めていきます。



●デザインカンプの作成

出来上がった原稿をもとに、過去のアルバムから適宜写真を選択します。原稿と写真をあわせてデザインを起こします。途中の段階で、デザインの案は幾度か提出して確認をとります。

